



# 高輪だより

平成29年2月号

港区立高輪幼稚園  
園長 新山 裕之

## <産んでくれてありがとう>

「誕生日は、お母さんやお父さんに、産んでくれて、育ててくれてありがとうと感謝する日だよ」この話は、映画評論家の淀川長治さんの教えとして、永六輔さんのラジオ番組で紹介されていたのを聞き、それ以来、誕生会のときに必ず話している内容です。1月生まれの私も、先日、年老いた母に電話をしました。保護者の皆さんにとっても、親としての第一歩を歩み始めた記念すべき日だと思います。残り2回の誕生会は、待ちわびていた子どもたちのために、心を込めてお祝いをしたいと思います。

## <どんな人に育ててほしいか>

子どもたちが成長していく過程で、困難を乗り越えるたくましさや培うことの大切さは、9月の桑原さんの講演会でも再確認しました。幼稚園や学校では大人が適度に見守り、支えながら、困難を乗り越える経験をさせていくことが大事です。大人が転ばぬ先の杖を貸し過ぎては、自立は進みません。どんな社会になっても、前向きに立ち向かっていけるたくましさや育てたいと思います。そのためにも、我々大人は子どもたちに手本となるような生き方、後ろ姿を見せていきたいものです。

## <基本の再確認を>

高松アカデミーのあいさつ運動の3回目を行います。1月の保護者会で、立ち止まってあいさつをすること、大人が隣で手本を示すことをお願いした後、気持ちのいいあいさつができるようになっていきます。定刻の登園をしっかりと意識している方も増えました。『みなときっすなび』にも、「規則正しい生活リズムを身に付けましょう」「返事やあいさつをしましょう」は、定期的にチェックしてみましょうと示されています。一年間のまとめの時期だからこそ、基本の「き」から再確認していきましょう。

・・・如月(きさらぎ)・・・

高輪の  
二十四節気

立春(4日)・・・よもぎが柔らかい芽を出し始めます・・・

雨水(18日)・・・ハクモクレンの蕾がふくらんできます・・・

1月中旬、厳しい寒波が訪れ、氷作りの仕掛けをしておいた屋上のたらいには、昨年の記録をはるかに越える4~5cmの分厚い氷が張りました。その後、色水は凍るのか？花びら入りの氷はできるのか？形の違う氷はできるのか？など…、様々な実験が続いています。寒さを利用した遊びが、年長から年中、年少へと伝わっています。

同じような異学年のかかわりとして、節分に向けて年長児が作ったかっこいいお面が、年中、年少児のお面作りへのきっかけとなっています。豆をまいて鬼を追い払うと、立春を迎えます。寒さの中にも少しずつ春の足音を感じながら、1年間のまとめをする季節です。



みんなでおめでとう！うれしい誕生会



左から5, 4, 3歳それぞれの鬼のお面



寒さに負けず戸外で元気に遊ぶ子どもたち



家のどこかに貼って、親子でチェックしてみてください



花びらを入れた氷の実験も成功しました